

第4期多摩区区民会議 第7回コミュニティ部会 議事録

□開催日時	平成25年8月19日(月) 午後6時00分～8時00分
□会場	多摩区役所10階第1002会議室
□参加者	辻野部会長、松本副部会長、大津委員、国保委員、戸高委員、配島委員(以上、コミュニティ部会員)
事務局	門間課長、奈良職員
コンサルタント	斉藤研究員、梅田研究員
傍聴者	1名

1 審議テーマの取組内容について

配布資料について部会長から説明があり、「具体的な取組」についての今後の進め方について議論を行った。

辻野部会長 イベントカレンダーについては、前回、今日の会議で具体的なアンケート設問案を検討することになっていた。また8月25日の市民館デーが迫っている。まず、この二つの取組について議論を詰めておきたい。また、残りの食・農のイベント、あいさつ運動についても議論を進化させたい。では、イベントカレンダーに載せる町内会・自治会へのアンケート設問案について、事務局から説明してください。

事務局 この調査は町内会・自治会長さん宛に出す。最初にアンケートのお願いの趣旨があり、記入にあたっての注意書きがあり、このアンケートは自然災害部会のアンケートと一緒にやることになっており、その質問がテーマ1で最初に来る。その後、テーマ2で、町内会・自治会で実施しているイベント・行事を聞く。行事の名称、実施時期、実施場所、また、その行事について広く他地域にも知らせようかの4点を記入していただくようになっている。次のラジオ体操についての質問は、現在あなたの町内会・自治会でラジオ体操を実施しているか、実施している場合は、その時期、参加人数、主な参加者、リードするグループを書いていただくようにしている。このアンケートは自然災害についての質問もあるので、関係者が答えやすいように、二つのテーマの用紙が別になるように作成している。

辻野部会長 このアンケートはコミュニティ部会で伺いたい内容について大義名分が立つように、質問への導入部などを考えた内容になっている。これをたたき台にして、もっと膨らませた方がいいのか、もっとシンプルにした方がいいのか、付け足すことがあるのか、文言への注文などのご意見をいただきたい。

大津委員 まず前回参加できなかったことをお詫びする。1の設問の一番右の欄の、知らせることに賛成、反対の欄だが、盆踊りなどの内容であれば不特定の方が来ておかまわないが、お祭りの神輿を担ぐ場合は、見物は大歓迎だが太鼓をたたき、神輿の担ぎに参加してもらうのはいいとか悪いとかいろいろあると思う。それを参加という言葉で聞くと、担いでいいということになるのかが気になる。また運動会・体育会も小地域ごとに対抗戦があり、見物は大歓迎だが競争で走ることは地域として抵抗がある場合もある。回答する側が微妙に迷うだろう。ここは工夫がいるのか、それともこのままドライに出してしまうのか。

もう一点は、町内会・自治会が主体ではなく、賛助・協賛的な立場で行う子ども会、老人会、地域教育会議が主体のものもある。町内会・自治会だけに出してしまうと、他の行事がフォローできないのをどうするか。この2点が気になった。

松本副部長 もし自分が書こうとしたときに、町会全体がやるもののほかに、子ども会のイモ掘り大会、老人会の旅行会、清掃活動などを全部が私が把握していない。それぞれ助成金などがあって独自に動いている。しかしそれらはクローズドな集まりであって、イモ掘りも畑のイモを一株何円か出して買っているわけで、子ども会に入っていない子どもが参加することは難しい。ラジオ体操なども子どもに毎日ちょっとしたお菓子を出している。皆勤賞の子どもにはまた最後に特別なお菓子を渡す。それを楽しみにして参加する子どもがいる。そこに他の町会の子どもたちが来ると、僕はもらえないという感じにもなりかねない。

事務局 このアンケートは、質問1の場合は、地域で行われている行事を知らない人がいて、行事は交流の機会があるのに、もったいないということから始まった。もし、絞っているのであれば、子ども会、老人会など、会費を払ってもともとクローズドなものは書かなくてよいとする方法もある。また参加者という言葉への指摘はその通りなので、そこは工夫が必要だと考える。

配島委員 たしかに区分けは重要なのだが、子ども会、老人会でこういう行事をやっているということを知って、それなら入ろうかという人もいる可能性があるのではないか。参加者もしくは観覧者というような分け方をして、一般参加歓迎なのか、関係者のみの参加なのかを分けられる形で把握することができないか。そうすればそんな行事をやっているのであれば、子ども会、老人会自体に入ろうかという動きも多少は期待できるのではないか。

松本副部長 老人会に入ろうという人も、何かお土産を期待する。運動会なども子ども会とかいろいろ来るが、老人会が一番賞品にうるさい。老人会・子ども会に入ってもらうのはうれしいのだが、クローズドな体質になっているところだと難しい。

配島委員 観覧、見学オーケーに丸がついていれば、行けることがわかる。関係者や会員制ならば入れないことが、見る側がわかるようになっていれば、無理に参加することなく、きちんと会員になろうとする気持ちが出てくると思う。例えばイモ掘りをやっていることがわかれば、うちの子どもの子ども会に入れようとする気持ちが引き出される可能性がある。

松本副部長 現実的にはうちの町会でも、まわりの町会を見ている、子ども会はほとんどの子どもに声をかけている。同級生がいるからどこの家に入った、入らないがわかる。老人会もこの家には老人がいる、いないがわかり、夫婦で入っているのか、一人しか入っていないかを全部把握している。子ども会も入らないのは役員をするのが大変だからと、親が入らない場合がほとんどだが、全部把握している。

大津委員 町会に入らない家でお子さんがある場合、学校の友達が子ども会で活動しているけれど、町会に入っていないと自分が参加したくてもできない。その場合、町会に入らなくてもいいから、子ども会には入らないと子どもが可哀想だと話して、子ども会に入れ、次に町会に呼込むことをした時期もあった。

辻野部長 その場合は子ども会費を別に取っているのか。

大津委員 ほんのわずかだが取った。それは保険とかもろもろの財源が必要だから。

配島委員 それは町会によって別だと思う。中野島の場合は町会に入っていれば子ども会に入れのだが、それがわからない人もいる。菅は9つくらいの子どもの会に分かれているが、親たちは町会と子ども会は別に考えている。子ども会に入っても、町会には入らないとか。その中で子ども会の行事がわかって、一人でも子ども会に入りたい人が増えれば、子ども会にとっても町会にとってもプラスになるのではないか。

コンサル イベントカレンダーはどのような形態のものを、どんな更新時期を考え、どのようなやり方で、だれに配布するかはこの後の検討になっている。多摩区の町内会は130団体くらいあると聞いているが、もし一つの町内会の子ども会、老人会を含めたすべての行事を載せるとすると、そのスペースは相当なものになり、仮にひとつの町内会・自治会を1頁に収めることにしても、130頁なる。それ以外にも地域教育会議、商店街、区主催の行事などを載せることになっており、200頁近いイベントカレンダーを作成するのはあまり現実的ではない感じがする。町内会・自治会で行われている行事をすべて載せることがイベントカレンダーの役割なのか、これまでの議論では、まちの中で行われている他の人も参加できる祭り、行事についてよくわかっていない、もしわかればもっとふれあいのチャンスが増えるので、町内会・自治会さんにアンケートして調べてみようということで進めてきたと思う。記入してもらうものを絞りこむ方が趣旨にあっているのではないか。そうではなくて、すべて調べておこうということであれば、行事を書く欄をこのページ全部に広げて、ラジオ体操の質問は裏側に持っていくことで書いてもらうスペースを確保しなければいけない。

また、広く参加してもよいかと聞く欄のところは、たとえば行事を実際に行う側として関わるのが可能か、見る側として参加が可能かといった、選択肢を明確にして選べるようにしないといけないということだろう。

大津委員 割り切ってこの選択肢で出してみる手もある。

松本副部長 もし、会長としてこの欄に答えるとすると、参加者とあるのは、餅つきの場合、参加して餅も食べる、神輿も一緒に担ぐ人として参加できると取るだろう。見学者とは受止めない。

辻野部会長 そうすると見るだけオーケーの場合をどうするかということか。

配島委員 お祭りの場合でも参加というと自分も参加して踊ったりできると期待する。それができないとすれば、後でことばはよく考えるとして、観覧者はオーケーとか、それ以上は神輿の担ぎ手までやれるところは参加者に○をしてもらおうとかがはっきりしえないと、誤解してしまう。

コンサル その二つの参加が仕分けできる書き方にすればよいということで修正する。それをイベントカレンダーでどう表現するかは別にしても。

松本副部長 もし、好意的な目で見学してくれる人がいれば、ビール一杯もどうですかとなるだろう。町会の活動は自然災害部会もそうだろうが、絆づくりが大きな目的だ。行事のときにテント張ったりすると、防犯・防災の予行演習にもなる。にぎやかにたくさん来てくれることはよいのだが、それをあまり幅広くやってしまって、他の町会の人まで取り込んですべてができるかとうと、そうできないこともある。

国保委員 今のお話を聞いていると、イベントに参加する人と見る人にわけてしまうのは何か変な感じがする。お神輿を担ぐということは大変なことで、大体3か月は見に来て、よくわかってから参加するなら参加する。長尾などでもお祭りで太鼓たたく人、神輿を引く人といった、やる人、見る人に自然にわかれていく。そこに線が引かれているわけでもない。そんな感じはみんなわかっていると思う。そこに厳然とした区別をしようとして、どうか。元住吉の祭りは他からもたくさん来るし、どこの人かわからない。でも中心になる人はわかる。盆踊りでも好きな人は平気で踊っているし、この地域でない人は踊らないとかいうことでもない。そこを明確にしてしまうとどうなんだろうか。その他の人を排除してしまうことになる。

大津委員 行事の名称の左の欄に、不特定の参加者歓迎の行事、参加者特定の行事とわけてしまっただろうか。そうすると書く方は書きやすい。

辻野部会長 先に分けてしまうやり方もある。それともこれでやってみて差しさわりが実際に出てくるかどうかだ。

国保委員 私はこのままでいってはどうかと思う。主体的にかかわる人、そうでない人をあまり厳密に区別するのは問題ではないか。

大津委員 もし、これでやって気になる人は事務局に聞くなり、相談をしてくると思う。

辻野部会長 これですべて、問い合わせをしてきたところには、いまのような説明をしてもらうことで進めるのはどうか。国保先生がおっしゃるように、せつかく多面的に参加してもらいたいという考え方でやっているのに最、初から絞るのどうかという問題が出てくるだろうから。

事務局 右側の欄の広く他地域にも…とあるところは明確ではないということだと思うが、この質問を入れた趣旨はイベントカレンダーに載せていいかどうかを聞いているのだから、イベントカレンダーをつくることを検討しているが、それに載せてもよいイベントかどうかを聞く形にしてはどうか。

辻野部会長 イベントカレンダーに載せることは賛成か反対かを直接聞く方がいいかもしれない。

戸高委員 そのイベントを広く知らせることについて、町内会・自治会がどのような気持ちを持っているかを聞いておくことは、私たち区民会議の審議をしていく上では、地域の意向を具体的に感じることができるのでいいのではないか。下の方に、△までは載せる方向で考えていると書いて、3つの選択肢で選んでもらうのはどうか。私たちも地域の実際の気持ちを知ることでも大事ではないかと思う。イベント情報の公開について望んでいるところがこれだけあったという対策をとれる。

大津委員 イベント情報の公開について了承は○、了承しないは×ですね。

松本副部会長 登戸などは単会がひとつの町会になっているが、運動会など全体でやる行事と単会でやる行事がある。神社全体のお祭りには来てほしいが、単会がやっている神輿はクローズドというのがある。町会全体と単会の話はどうするか。

大津委員 単会ではなく町会全体の行事ということにしましょう。ちなみにしんぐらの八幡宮はお祭りの最後に余興が終わったら餅投げをする。それまでの見物人がほんの少しだったのが、餅投げの時間になったら境内に人があふれる。

コンサル 右の欄はイベント情報の公開について了承は○、了承しないは×の選択肢でよいですね。

戸高委員 やはり△がほしい。

コンサル △はどんな内容ですか。

戸高委員 迷っているところですね。

コンサル 迷っているというのは、イベントカレンダーに載せるときにどちらにするか判断できない。

戸高委員 本当はもっと祭りに参加してほしいし、神輿の担ぎ手も増えるとよいと考えているところもあると思う。でも町会や子ども会の予算でやっているのでも、どうしようか。そういう町会は△をつけてもらう。そういう悩んでいる町会の数が具体的に見えるかもしれない。

松本副部会長 うちの町会の場合は、子ども神輿は他の町会の子どもであってもどんどん参加してほしいし、お菓子も上げる。大人神輿は親睦でやっているのでも、プロが来ると大変なことになる。接待しなければいけないとか、喧嘩があるというこれまでの経験がある。もし、神輿を担いでもらう場合でも、これは浅草の神輿と違うから、その辺は気をつけてほしいとよく話してから参加してもらう。

コンサル △があるということは、イベントカレンダーの作成時に掲載について再度聞いて確かめなければいけないことになる。

戸高委員 ○△についてはイベント情報を公開すると注釈をつけておく。子どもはいいけれど、大人はだめだというところは△になる。

コンサル その場合は、それに参加したい参加者が、どんな参加ができるかの内容は地域に問い合わせるということになるということになる。

戸高委員 そう思うし、行けば大体わかると思う。

コンサル △をつける町内会・自治会がどれくらいあるかを確認したいということか。

戸高委員 そうです。

国保委員 30 数年まちに関わっているが、町内会・自治会についてそれなりに知っているが、それでも詳しくない。そしてそれが普通だと思う。だから、なるべく参加してもらって、町内会・自治会にはいろいろな会があり活動をしていることを知ってもらうことに意義がある。

辻野部会長 次に進もう。ラジオ体操の質問はあいさつ運動に絡んだ質問だがそれについて、議論しよう。

国保委員 ラジオ体操は町内会・自治会でやっているのだろうか。

松本副部会長 ほとんどの町会がやっているのではないか。

大津委員 うちの町会ではやっているとは聞かない。

松本副部会長 子ども会としてやっていて、町会に報告していないところもある。だからもつとPRしようというて、回覧したり、掲示板に貼るようにしている。菅の町会などは大きいから町会として把握していないかもしれない。

配島委員 子ども会ごとにやっている。夏休みにやっているが、全期間やっているわけではない。お盆前の1週間くらいやっている。

戸高委員 数えるほどの子どもたちと大人たちだが、結構やっている。

松本副部会長 私の町会は子ども、親、爺ちゃん、婆ちゃんと40~50人来る。

辻野部会長 町会だけではなくて、子ども会にも聞かないといけないか。

松本副部会長 町会にきけば、町会が調べて記入する。

事務局 町内会・自治会の中にたくさん子ども会がある場合は、どうすればよいか。菅のような場合は9つくらい欄をつくらないといけないか。

配島委員 菅では毎月各単会の活動を報告しているので、単会の活動は把握できていると思う。

大津委員 宿河原の場合はこういうアンケートが来れば単会に流して、その結果を書くと思う。

配島委員 菅の場合各単会の数字が全部合わされて出てくるということか。

事務局 子ども会がたくさんあるところは何枚か用意しないといけない。宛先は町内会・自治会長さんにさせてもらい、会長から老人会、子ども会の組織に聞いて書く形にしないといけない。その場合はすべての町内会・自治会に10枚のコピーを入れることはできない。必要に応じてその町内会・自治会がコピーして書いていただかないといけない。そうすると町内会・自治会にまた怒られることになるかもしれない。

国保委員 今回は町内会・自治会の会長さんに送って、把握できる範囲だけでいいのではないか。

事務局 アンケート作成の経緯を考えると、地域での顔合わせや顔見知りができるラジオ体操は、今どれくらいやっているかわからないということがあった。やってるか、やってないかを知りたいのであって、どのようにやっているかの質問は絞ってもよいのかも知れない。

配島委員 実施時期のところは、実施期間としてやっている日数を書くようにすれば、簡便に

なる。

事務局 1日～14日程度の数を書いて、その中から選ばせるほうが簡単かもしれない。

大津委員 開催場所の箇所数を加えてはどうか。そうすると参加人数が多くても、箇所数で割れば、出てくる。

辻野部会長 開催場所は特定しなくてもよいか。コミュニティの絆には集まれる場所が問題になるが。

大津委員 私も開催場所がどこか知りたいが、そこまで書かせると面倒くさいという回答者がいるのではないかと心配する。

事務局 開催場所 公園（箇所）、広場（箇所）のようにすれば、場所と箇所数がわかるかもしれないので、そのように修正してみる。

松本副部会長 選択肢の中に体育館を入れる必要はないか。

大津委員 それはあまり必要ないだろう。

配島委員 幼稚園の園庭があるかもしれない。

事務局 選択肢が他にあれば今挙げていただけるとよい。

大津委員 会館前広場、寺社の境内。

配島委員 個人のお宅の庭はないか。

大津委員 私は子どもが小学校の時に、自分の家の庭でやっていたことがある。近所の子ども15人くらいがやってきた。

事務局 公園、広場、寺社境内、その他の選択肢にする。個人のお宅の庭などはその他に入れる。

辻野部会長 次に行きます。市民館デーでふれあいの機会をつくる取組だが、呼込みチラシもできた。当日運営ですが、10時から14時で前回決めたように4階会議室に開始30分前の9時半に集合だ。市民館デーは朝10時から15時30分になっている。

国保委員 子ども区民会議は何時からか。

事務局 前イベントとして1時半からコーラスがあるが、子ども区民会議は2時から4時までだ。区民会議のみなさんには、午後2時から子ども区民会議にオブザーバーとして参加していただきたい。ただ、囲碁や将棋の先生をご紹介いただいているので、その先生方は子ども区民会議に行かなくてもよいが、どのくらいまでいていただけるのか。

大津委員 頼んだ先生には午後2時までとあってある。私どもの稲田地区は、同じ日の2時から長尾会館で社会を明るくする運動全体集会を開催するので、私はその設営があるため、午後から失礼せざるを得ない。

戸高委員 私と小塚さんはエレベーター前でチラシ配りをやる。

辻野部会長 囲碁将棋担当は誰がするか。

国保委員 私が入ってきた人のレベルを聞いて、調整して配置する。

大津委員 囲碁将棋の先生の元締めは長尾老人会の青木さんで、青木さんは子どもを対象にした囲碁将棋並べよう会の世話役。この方が囲碁の人、将棋の人それぞれ二人を連れてくる。

辻野部会長 マジックは国保先生にお願いする。トランプを使うのか。

国保委員 やはりカードマジックが一番いい。52枚のカードがあれば、なんでもできる。一番安くて面白いマジックができる。

配島委員 中野島こ文で国保先生が子どもたちにマジックをしているところを拝見したが、子どもたちの目がエーッと釘付けになった。

辻野部会長 絆づくりは私、配島委員、大津委員、松本委員がやることにして、今日出席の委員は9時半に当日会場に来ることにする。設営はすぐできるか。

事務局 他からものを持ち運んだりすることがないので、設営はすぐできるはずだ。

大津委員 囲碁将棋の先生方は10時でよいか。

事務局 よい。

辻野部会長 先生たちにはもし区長が来ていけばあいさつしてもらえるとよい。

事務局 市民館長は必ずいるが、区長は他にも予定があるので必ずあいさつできるとは限らない。

辻野部会長 次に残された課題は、農・食育・健康活動の取組だが、9月11日のまち協の会合には国保先生は参加されないということか。

国保委員 本多委員に聞いたところ、そういう会合ではないということなので、参加しないことになった。

辻野部会長 白井委員が忙しいようなのでJAに直接あたるのかどうか。また11月2日のイベントにフィールドワークで参加して、他のJAでもやれる可能性があるのかないのかを探るのか。

事務局 これまでも何度か議論いただいているのは、この部会がやろうと考えていた内容のイベントはすでに前年度から行われていて、今年度は11月2日に実施される。ここの中でさらに何かを仕掛けるのは難しく、これに関わっているJAは昔だが、他の多摩区内のJAにも広げられるのかを探ることが問題となっていた。その可能性を白井委員に聞こうということだった。

国保委員 こうした活動を広げていきたいというのがポイントだ。

辻野部会長 よみうりランドでやっている内容を他のJAでもやるように広げていけるかを確認に行く。そのヒアリングを受けてくれるか打診してもらえるか。あるいは役所に来るといふかもしれない。

大津委員 他の小さな梨園をやっている民生委員の人間を知っているが、相当忙しいらしい。

松本副部会長 部会長のお話のように白井さんをお訪ねして少しお話を聞くということで、ただ11月2日の内容がわれわれの思っている内容に近いものかどうかわからないので、何人かでこのイベントに参加することが必要だろう。

国保委員 これからは地産池消が大きなテーマとして挙がってくる。自分の土地で作ったものは安全だが、輸入したものは遺伝子組み換えや農薬の問題など、どうなっているかわからない。その土地の土でできたものを食べるのは意義がある。それが病気を治すことにつながる。

辻野部会長 これについてアンケートができるだろうか。

事務局 まち協のほうは難しい。よみうりランドのほうは、意見収集は感想を書ける葉書を渡して自由に書いてもらう形式で、一般のアンケートではないことがわかった。この部会が意図するアンケートを簡単に作成して、それができるかどうか。

辻野部会長 アンケート案を作成して、それができるかどうかそちらの事務局にあたってみることにしよう。

あいさつ運動の展開が最後になったが、それぞれの展開のイメージが、部会員のみなさんにもあると思うので、それを次回以降話していただいて、方向性がはっきりしたらそれをやるということだろう。

松本副部会長 これは個人的にやるというよりも、多摩区全体としてやることだろう。たとえば私が町連の会合であいさつ運動をしてくれといってもそんなに効き目がない。区の方針として、どこの場でもみんなであいさつしようというようにしないと、本当に身についた運動にならない。

辻野部会長 フラッグを立ててひとつの旗のもとに運動を展開しようということだ。

松本副部長 そういう意味で区役所の中、学校の中で運動をどう展開するかになる。

辻野部長 ターゲットを決めて、まず隼から始めよという形でやっていけば、意義があるのではないかということだ。

松本副部長 これですべての9月4日の全体会の進め方はいいのか。

事務局 8月30日の企画部会で具体的にどんな内容にするかを最終的に話し合うことになる。

大津委員 最後に、アンケートのことに戻るが、このアンケートは町内会・自治会長様となっているが、マンション管理組合にも町内会・自治会のお知らせなどはまわっていると思う。その場合、町内会・自治会長様以外にマンション管理組合の方は宛名をどう書くのか。このままでよいか、普通はどうなっているか確かめた方がいいかもしれない。

松本副部長 一般のマンション管理組合に町会と同じ調査は行かないが、町会として位置づけられているマンション管理組合がある。それらに対してどういう宛先にしているか。

事務局 それは地域振興課に確かめることにする。

松本副部長 なんとか少し先が見えてきた気がする。欠席委員が少しいるのが残念だが、9月4日の全体会で報告して、また、議論が進むと思う。よろしく願います。

2 スケジュール

○企画部会 8月30日(金) 16時～

○第5回全体会 9月4日(水) 18時～

以上